

埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network
埼玉グリーン購入ネットワークニュース
第5号 2010年9月

—環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める首都圏発の地域ネットワーク—

埼玉GPN NEWS 2010.9



対談 さいたま市長清水勇人氏

CONTENTS

- “E-KIZUNA Project” 電気自動車の普及に向けて
清水さいたま市長対談…………… 1
- グリーン購入フォーラムには学生も参加、第3回定期総会
ゼロエミッションハウスを見学…………… 2
- エコアクション21ガイドライン改訂…………… 3
- エコな新技術
耳寄り情報
会員一覧…………… 4

“E-KIZUNA Project” 電気自動車の普及に向けて 清水市長対談

埼玉GPN江田会長が清水さいたま市長を訪問し、グリーン購入への取り組みなどについて聞きました。

江田：市長は『絆』を大切にすまちづくりをされていますが、“E-KIZUNA Project”とは？

清水：“E-KIZUNA Project”は、次世代自動車の推進の中で特に電気自動車（EV）の普及促進のため、「充電



談笑する清水市長と江田会長

セーフティネットの構築」、「インセンティブの付与」、「地域に密着した普及啓発」を3本柱に取り組んでいます。

4月26日に、さいたま市が主催した第1回「E-KIZUNA サミット・フォーラムinさいたま」には、東日本の20の自治体首脳や様々な業態の企業首脳が集まり、取組状況の発表や意見交換を行ない、サミットの取組方針やフォーラム宣言を取りまとめました。

今後、広域的な都市間ネットワークや、国・企業などを含む多面的なネットワークを通じて、早期の普及促進に努めたいと考えています。

江田：「しあわせ倍増プラン2009」の中でも地球温暖化対策が謳われていますが。

清水：「創って減らす！」をキーワードに、特に太陽光発電設備の設置促進と照明のLED化を柱として取り組んでいます。太陽光発電設備設置促進については、住宅用太陽光発電設備設置に対する補助制度の他、市有施設への導入を進めています。また、平成22年3月にさいたま新都心駅東西自由通路においてリーディング事業として照明器具のLED化を行いました。太陽光発電同様、今後は市有施設への導入を進めていきます。

このほかにも、9都県市で連携した地球温暖化防止キャンペーンの実施や環境負荷低減計画制度など、市民、事業者の皆様と共に地球温暖化対策に取り組んでいます。

江田：環境教育への取り組みについては

清水：昨年、環境教育をより一層推進するために「さいたま市環境教育基本方針～みんなで取り組む環境教育ALL SAITAMA CITY～」を策定しました。

3月には、既存の環境施設が連携して環境教育の場づくりをする「ネットワーク型環境教育拠点施設@さいたまCITY」を構築しました。市内にある環境施設の「どこで、どんなことが学べるか」を分かりやすく紹介するホームページとなっています。

グリーン購入フォーラムには学生も参加 第3回定期総会



6月に埼京線北与野駅前の埼玉県ビジネス交流プラザで第3回定期総会を開催しました。前年度事業報告、決算、今年度事業計画、予算などが承認されました。今年度は県の協力も得ながら、地域の自治体へグリーン購入を推進していくことを重点目標としました。

総会終了後「埼玉グリーン購入フォーラム」を今年も開催し、～今知りたいグリーン購入基礎講座～と題し、ホットな話題を3部構成で参加者へ提供いたしました。

第一部：「グリーン購入の背景・意義と特定調達品目の検討状況について」

環境省総合環境政策局環境経済課 増田直人氏

グリーン購入のこれまでの歴史と現在の取り組み状況、平成27年度を目標年次として全ての地方公共団体、上場企業の半数、非上場企業の30%がグリーン購入に取り組むための検討状況についてお話をいただきました。

第二部：「埼玉県の排出量取引について」

埼玉県温暖化対策課副課長 安藤 宏氏

埼玉県で新たに行われる「目標設定型排出量取引制



交流会のようす

度」の概要について紹介していただきました。

第三部：「次世代の快適性、経済性そして環境配慮をかなえるグリーンファースト」

積水ハウス株式会社環境推進部温暖化防止研究所部長 福田和幸氏

積水ハウスが取り組むゼロエミッション、快適性と経済性さらに環境配慮を両立させた家づくりの紹介をしていただきました。

フォーラムには会員だけでなく大学生も参加し、熱心に受講いただきました。フォーラム終了後、恒例の交流会を開催し、会員企業どうしの親睦を深めました。

ゼロエミッションハウスを見学 茨城県次世代エネルギーパーク施設

台風9号が上陸した9月8日(水)、茨城県古河市にある積水ハウス(株)のゼロエミッションハウスを見学しました。会員事業所の職員・社員や学生など39名が参加しました。ゼロエミッションハウスは、2008年7月に開催された北海道洞爺湖サミットの国際メディアセンター敷地内に建設された「CO₂オフの暮し」を体現する住宅を移築したものです。



ゼロエミッションハウスの前で

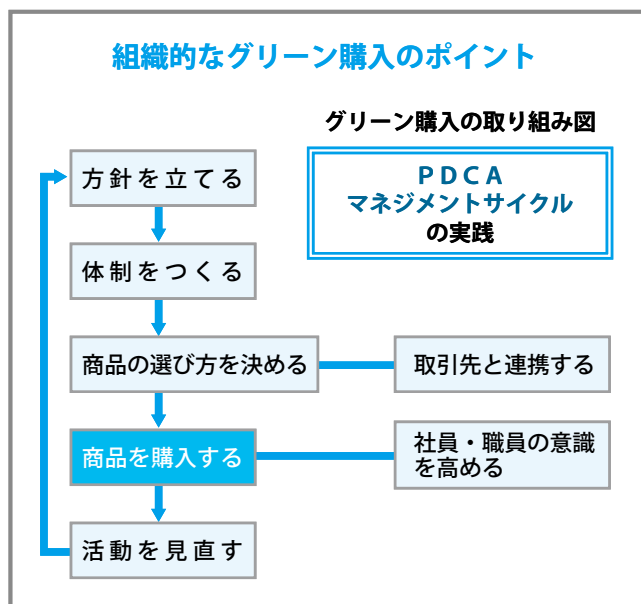
建物と設備機器の省エネでCO₂を50%OFF。太陽光発電などによる創エネを50%。省エネ+創エネでCO₂排出量をゼロにしています。

北側の屋根はスナゴケの屋根材。室内は外部の自然光を室内照明にしたり、真空断熱ガラスや高断熱材の利用、雨水利用などで省エネを進めています。また太陽光発電、燃料電池などで創エネを行っています。ゼロエミッションハウスの見学後、資源循環センターを見学しました。資源循環センターでは、回収した廃棄物を80品目に分別し、98%リサイクルし、資源として再利用しています。

グリーン購入の推進 エコアクション21ガイドライン改訂

今回のエコアクション21の改訂で、グリーン購入に関する取組が規定されました。具体的には、環境目標及び環境活動計画の策定時に、具体的な目標設定や関係する従業員への周知徹底が求められます。

そして、PDCAのマネジメントサイクルをグリーン購入の取り組みにも採用していくことが必要です。



TOP層の理解と承認を得ることが不可欠で、関連する部署と連携し、組織的な取組みとして位置づけることが大切です。また、「方針」を内外に周知し、協力体制を構築することも重要です。

取組み促進のチェックポイント

チェックポイント1 【推進体制の構築】

—方針に盛り込むべき項目—

- 主旨、目的、理念、取組の内容
- 対象とする購入分野／購入基準
- 目標、実績把握、見直しの方法

<参考情報>

- 先進団体の購入方針
- GPN「グリーン購入基本原則」等
- グリーン購入取組事例データベース
http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/jirei_db/index.html

チェックポイント2 【取組分野の・拡大】

≪戦略的に、効果的に≫

- 環境影響が大きく、組織での購入量が多い分野
- 環境技術開発の可能性(改善の余地)が高い分野・組織内にアピールしやすい分野(コピー用紙、文具・事務用品、自動車、制服)
- 対外的(顧客や市民)にアピールしやすい分野(封筒、会社案内、カタログ、販促品、自動車
自らの事業活動に関連する分野(廃棄物利用等)

≪取り組みやすいところからStep by Stepで≫

- 環境配慮商品が入手しやすい分野
既存の基準・ガイドライン・環境ラベルなどがある分野
- コストがあまり上がらない分野

<参考情報>

- グリーン購入ネットワーク「エコ商品ねっと」
<http://www.gpn.jp/>
- グリーン購入法特定調達物品情報提供システム
<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/gpl-db/index.html>
- エコマーク
<http://www.ecomark.jp/ruikei.html>

チェックポイント3 【選択基準】

- エコマーク等、既存の環境ラベルを十分に活用している
- グリーン購入基本原則やグリーン購入ガイドラインを参考にし、より広範な配慮ポイントを取り入れた基準を活用している
- 部材・包装材等、事業用の調達品についても基準を策定して実施している
- 運用面での工夫や取組の改善を行っている

<参考情報>

- グリーン購入ガイドライン
<http://www.gpn.jp/select/guidelines/guideline.htm>
- グリーン購入法 環境物品等の調達の推進に関する基本方針
<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html>

チェックポイント4 【社員・職員への意識啓発】

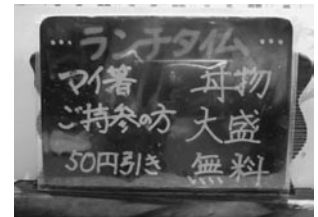
- 社員/職員に、方針や取り組むべき内容等について周知し、その成果が現れている
- 社員/職員の家族の意識啓発につながる取組など、活動の広がりがある

<参考情報>

- グリーン購入一斉行動キャンペーン
http://www.gpn.jp/event/campaign_6/index.html
- グリーン購入担当者を対象とした研修会・スキルアップ講座

耳寄り情報

さいたま新都心けやき広場にある寿司屋さん『御旦孤』では、ランチタイム(11:30~15:00)にマイ箸持参で来店すると、50円引きか丼物大盛無料、というお得なサービスがあります。
<http://guru-con.com/Default/ShopDetailNoMenu/shopid22891.html>



埼玉GPN会員一覧

105団体(2010/9現在) 行政8、団体11、企業86

■行政 埼玉県、さいたま市、川越市、入間市、川口市、所沢市、日高市、戸田市

■団体 埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、(財)埼玉県中小企業振興公社、(財)埼玉県公園緑地協会、埼玉中小企業家同友会、(財)さいたま市産業創造財団、さいたま商工会議所、(社福)埼玉福祉会、生活協同組合さいたまコープ、生活協同組合ドゥコープ、(特非)EEハーモニー

■企業 (株)アートドットコム、(株)アクセル、アピカ(株)、(株)アライ、(株)アルク設計事務所、石坂産業(株)、(株)イーシティ埼玉、(株)ウイロウベル、(株)氏家製作所、浦和レッドダイヤモンドズ、(株)イー・シー・エス、エコ環境システム、(株)FM NACK5、(株)エプセル、(有)エブリディビジネス、大宮アルディージャ、柏木建設(株)、(株)関東パイプ技研、(医)誠昇会北本共済病院、(株)国太楼、計測サービス(株)、ケミテックシー・エス・エス(株)、(株)甲商、国際チャート(株)、ココヨ東京販売(株)埼玉支店、(株)小山本家酒造、(株)サイサン、埼玉県信用金庫、(株)埼玉交通、(株)埼玉新聞社、(株)埼玉ディエスジャパン、埼玉トヨペット(株)、埼玉日産自動車(株)、(株)埼玉りそな銀行、サンケイ鋼器(株)、(株)シール堂印刷 埼玉事業所、(株)JTB関東、(株)ジャスト、(株)ジャパンアート、(株)松柳園、新日本監査法人さいたま事務所、大成ロテック(株)、(株)太陽商工、(株)大和ライト工業、(有)タカザワ企画、(株)タカヤマ、武正(株)、(株)デサン、(株)テレビ埼玉、東京ガス(株)埼玉支店、(株)東京化成製作所、(株)ハイクレー、(株)ハイデイ日高、(有)パル、飯能ケーブルテレビ(株)、(株)ピージーサービス、(株)ピックルスコーポレーション、(株)ビルテクノマイニチ、フォーレスト(株)、(株)ぶぎん地域経済研究所、富士商工エマシナリー(株)、富士ゼロックス埼玉(株)、武州ガス(株)、武州産業(株)、(株)古田設計、(株)ベルエール、北海製罐(株)、ポラス(株)、毎日興業(株)、(株)松永建設、(株)マツハ、マルキュー(株)、三国コカ・コーラボトリング(株)、溝口洋紙(株)、(株)武蔵野銀行、(株)メガ・ネットワーク、望月印刷(株)、(株)ヤオコー、(株)八洲電業社、(株)ユーパーツ、(株)与野フードセンター、リコー販売(株)埼玉支社、リコーリース(株)関東支社、りそな総合研究所(株)、税理士法人 レッドサポート、(株)ワーム

●埼玉GPNアドバイザーの皆様

小澁弘明、須藤隆一、外岡豊、中口毅博、藤田壮、松村隆

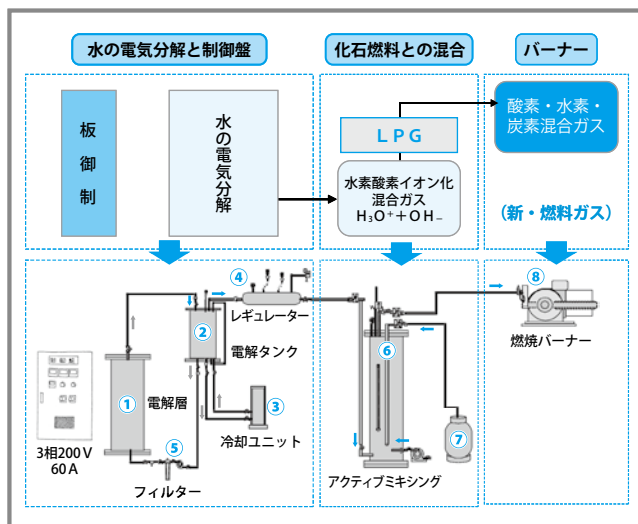
■入会案内

団体会員、サポーター(個人会員)があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

■発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

〒337-0053さいたま市見沼区大和田町2-1322-2大和田NPOプラザ内
 TEL.048-649-8087/FAX.048-649-8088
 E-mail saitamagpn@yahoo.co.jp
 Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>

エコな新技術水をエネルギーに



現在開発中の「低炭素水素酸素混合ガス」を利用した省エネ技術をご紹介します。

水(H₂O)を電気分解し、生成されたイオン化活性ガス(H₃O⁺+OH⁻)とLPGを、ガソリンを触媒として融合することにより、水(イオン化活性ガス)と化石燃料が融合した全く新しい燃料、「低炭素水素酸素混合ガス」が生成されます。

この「低炭素水素酸素混合ガス」は、水が主燃料ですが、燃焼カロリーが高く、低公害で完全燃焼に近いため燃焼効率も大幅に向上します。

コストは重油に比べ50%、ガスボイラーにおいてはそれ以上の削減効果があります。もちろんCO₂削減も同時に行われます。

現段階では未だ発売に至っていませんが、今後地球にとって大変喜ばれる商品だと期待されます。

(紹介者 (株)マツハ)